

决定我人生的一本书

Kさん

对我的人生影响最大的一本书是一本杂志。那本杂志就是学研出版社的《科学》。

这是面向小学生的月刊杂志，刊载着多个科学话题。这本杂志每月都附赠一个科学实验用套装。当时我还是小学五年级学生，但有一个月，我得知了面向六年级的杂志附赠了一套锗收音机（矿石收音机的一种）。我非常想得到这期杂志。我装扮成六年级学生去书店买了这期杂志，因为当时我认为五年级学生不可能买到六年级学生的杂志。

我拿着心心念念的杂志回到家后，很快就开始了组装锗收音机套件。我把线圈、锗二极管、电容器和耳机等几个部件组装起来。组装完成后，我戴上耳机，兴奋地转动调谐盘。遗憾的是，我从耳机里听不到任何声音。我一遍又一遍地检查连接处，却一切都和杂志说明中描述的一样。

我茫然若失，但我想起来了我家附近有一位大学生，他在电子方面很熟悉。碰碰运气吧！无奈之下，我带着收音机去到了这位大学生家里，请他帮忙检查。他很热情地用测试仪器检

查了电路和每个元件。过了一会儿，他说：“哦，最重要的元件锗二极管坏了。”他从他的存货中给了我一个新的，说：“用这个新的替换二极管”。

我高兴地返回家里，立刻换上了他给我的那个二极管。我再次把耳机戴在耳朵上。这次，我终于听到了微弱的广播声。是的，我听到了！太酷了！真好玩！这一刻，我完全被电子世界迷住了。

从这一刻起，我开始了学习电子技术。我每个月都买来了电子爱好相关的杂志，如饥似渴地阅读。顺理成章地我考入了一所大学的电子学系。毕业后，我进入了一家电子公司，开发了叫做图像传感器的半导体器件，一干就是 30 多年。

如果当时我没有买那本杂志，如果那个锗二极管没有缺陷，如果我家附近没有住着一个精通电子技术的人，也许就不会有现在的我。回忆起小学五年级的那一天，我不禁感到天缘奇遇。我很高兴能进入这个充满魅力的电子世界。

(完)

(以下日本語訳)

私の人生を決めた一冊の本

私の人生に最も影響を与えた本は、一冊の雑誌である。学研から出ていた『科学』だ。小学生向けの月刊誌で、科学的なトピックをいくつか取り上げている。その雑誌には毎月、科学実験に使う付録がついている。当時私は小学 5 年生だったが、6 年生向けの雑誌にゲルマニウムラジオ（鉱石ラジオの一種）のキットがついてくる月があることを知った。私はその号がとても欲しくてたまらなかった。小学 6 年生のふりをして本屋に買いに行った（当時は小学 5 年生が小学 6 年生向けの雑誌を買うことはできないと思ったからだ）。

あこがれの雑誌を持って家に戻ると、すぐにゲルマニウムラジオキットの組み立てを始めた。コイル、ゲルマニウム・ダイオード、コンデンサー、イヤホンなど、いくつかの部品を組み立てた。組み立てが終わり、イヤホンを装着してチューニング・ダイヤルをワクワクしながら回す。しかし、残念ながらイヤホンからは音が聞こえない。何度も何度も接続を確認したが、すべて雑誌の記事通りだった。

茫然自失の私だったが、近所に電子工学に詳しい大学生がいることを思い出した。ダメもとでその学生の家にはラジオを持ち込み、点検を依頼した。彼は親切にもテスターで回路とすべての部品をチェックしてくれた。しばらくすると、彼は「ああ、一番重要な部品のゲルマニウム・ダイオードが壊れているよ」と言った。そして、自分のストックから新しいのをくれ、「ダイオードをこの新しいものに交換しなさい」と言った。

私は喜んで再び家に戻り、すぐにダイオードを彼からもらったものと交換した。そしてまたイヤホンを耳に入れた。今度はついに、かすかな放送の音が聞こえてきた。やった！カッコいい！なんて楽しいんだ！この瞬間、私はエレクトロニクスの世界に魅了された。

この瞬間から、私は電子工学を学び始めた。毎月、電子工作関連の雑誌を買って来ては、貪るように読んだ。当然のように大学の電子工学科に進学。卒業後は電機メーカーに入社し、イメージセンサーと呼ばれる半導体デバイスの開発を30年以上続けた。

もしあの時あの雑誌を買っていなかったら、もしあのゲルマニウム・ダイオードが不良品でなかったら、もし電子工学の得意な人が近所に住んでいなかったら、もしかしたら今の私はなかったかもしれない。小学5年生のあの日を思い出すと、不思議な運命のいたずらを感じずにはいられない。この魅力あふれるエレクトロニクスの世界に足を踏み入れることができ、本当によかったと思う。

完

2024.9.9